

平成 27 年度第 2 回埴町総合教育会議議事録

日時：平成 28 年 2 月 23 日（火）午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分

場所：埴町公民館第 2 会議室

出席委員：菊池基文埴町長、金澤誠治委員長、瀬谷八洲委員長職務代理者、菊池明夫委員、星 春美委員、藤田充教育長

職務による出席者：益子和憲学校教育課長、江面政美生涯学習課長、金澤祐介生涯学習課長補佐、星忠吉学校教育課長補佐、金澤秀浩総務課長補佐兼総務係長、渋谷孝弘図書館係長、星周児生涯学習係長

午後 1 時 30 分開会

金澤総務課長補佐：平成 27 年度第 2 回埴町総合教育会議を次第に則り進めさせていただく。会議招集者の菊池町長よりあいさつをいただく。

菊池町長：教育委員の皆様には、日頃より町行政に多大な協力をいただき感謝申し上げます。町内各学校においても、学年末の大事な時期を迎えているが、インフルエンザ等に注意をしていただきたい。本町の教育現場で、現状問題はないと感じているが、法制度の改正に合わせ教育大綱を策定しなければならない。それぞれの責任の所在をはっきりとさせ、住んで良かったと思われる教育行政を提供していきたい。国家百年の計は教育にある。よろしくお願ひしたい。

金澤総務課長補佐：教育委員会を代表し、金澤教育委員長にあいさつをいただく。

金澤教育委員長：今年の 1 月より教育委員長を拝命した。昨今の少子高齢化により、幼稚園・小学校の統廃合が喫緊のテーマと捉えている。本日は、皆様のご意見をいただき、将来に向けた教育大綱を策定していきたいと考えているのでご協力をお願いします。

金澤総務課長補佐：早速、協議に移る。今回の会議より、議事録作成を短期間で行うため、要点筆記とさせていただきたく了承願ひたい。菊池町長を座長に協議を進めたい。

菊池町長：暫時の間、座長を務めさせていただく。早速協議に入る。（1）の埴町教育大綱の策定について議題とする。事務局より説明を願う。

藤田教育長：法令に基づく教育大綱を策定するということで、8 月の会議で第 1 稿を提案し、いただいた意見に基づき修正を加えた。前回会議では、全体の組み方は了承を得たと考えている。1 頁で、大綱の位置づけは「基本指針となるもの」とし、「埴町第五次長期総合計画」中の教育に関する部分をベースに、国の教育振興基本計画を参酌して（案）を作成した。目次の第 1 から第 3 は、長期計画の三本柱となっている。

2 頁、主要施策において、前回の意見を踏まえ、「地域ぐるみ」「全国学力調査」

のキーワードを加え、学校司書と埴工業高校との連携について表現を修正した。

3 頁、「土曜授業」を主要事業に位置付け、教育施設の適正配置を検討から推進に表現を変えた。不登校対策では、「スクールソーシャルワーカー」「あすなる教室」を加えた。

4 頁、前回話題となった「メディア」への対応と家庭における親の役割についての記述を加えた。生涯学習の推進については、前回とほぼ同じ。

5 頁、生涯スポーツの推進では、指定管理者制度の導入を加えた。

6～7 頁、家庭と地域の教育の充実では、放課後児童クラブの記述に「※小学校 1 年から 6 年を対象に」を明記した。

瀬谷職務代理者：生涯スポーツで、最近水戸棚倉間の駅伝のニュースがあったが。

江面生涯学習課長：棚倉主催（任意団体）の事業で、郡内に協力要請等はない。

10 年ほど前に休止となった事業を再開するようだ。

菊池委員：指定管理は、いつ頃を目指すのか。

藤田教育長：29 年度を目指したい。手続き上、公募を考えている。はなわスポーツクラブにも手を挙げてもらいたいと考えている。これまで「サッカーくじ toto」の補助金を活用して運営してきたが、補助金は先細りで、活動継続のためにも出来る支援をしていきたい。

菊池委員：対象となる施設は。

藤田教育長：野球場、テニスコート、体育館。海洋センタープールなども想定される。

星委員：海洋センタープールは夏しか利用できないのか。

藤田教育長：今は 7～9 月。屋根を熱効率の良いものに替えて、6～10 月使用できるようにしたいと考えている。費用は約 1 億。温水プールに改造すると 5 億はかかるので、そこまでは難しいと考えている。夏は屋根を開放できるようなものにできないか。計画を立てる予算を確保したので、検討を進める。

菊池委員：8 頁、あぶくま高原美術館の運営には苦勞しているが、今後の見通しは。

江面生涯学習課長：収容品の美術品の使用期限が施設の設立から 20 年（平成 35 年）となっているので、それまでに結論を出す必要がある。現状は、年間 8 カ月開館、4 か月休館である。

藤田教育長：管理を委託している朝日クラブのメンバーが高齢化しており、課題が増えてきている。

菊池町長：町への美術品の寄贈が増えているが、収蔵管理が課題となっている。

菊池委員：立地条件があまり良くないので、活用は難しいのでは。

菊池町長：地域の問題でもあるので、話し合いを進めてほしい。

藤田教育長：8 頁の「一層の魅力化を図り」の表現については、修正を加えたい。

瀬谷職務代理者：羽黒山を観光地化できないか。

菊池町長：里山整備を進めようと全山広葉樹化に取り組んだが、2年目に保安林の関係でストップしてしまった。山自体が全体的に動いていることもあり、推移を見守っているところ。現在の森林再生事業を活用できないか検討しているところ。

藤田教育長：羽黒山については、大綱に載せるところまでは考えていない。

瀬谷職務代理者：中学校に建設している武道館は、剣道と柔道の両方に使えるのか。

藤田教育長：両方に使える。

菊池町長：畳の再利用の声があると聞いているが。

藤田教育長：埴中学校の分は廃棄処分し、体育館の分は、災害利用等でストックしている。状況に応じ、活用できる。

菊池委員：国際理解教育については。

藤田教育長：現地に行つての交流（中学校の海外修学旅行）を検討したが、時期尚早となった。国際情勢の不安定さなどの課題がある。フィリピンとのネットを通じた交流が新聞に載っていたが、そのようなソフト的な交流も考えていきたい。

菊池町長：この会議が大綱策定の最終会議となるのか。

藤田教育長：今回、決定してもらえれば、教育委員会の事業計画を定め、町民にも公表していきたい。

菊池町長：できたものは町民に公表していくべき。各戸配布、広報誌掲載などのしかるべき対応をするように。

菊池委員：3頁、「適正配置の検討・推進」は何か前向きな表現に替えられないか。

藤田教育長：「適正配置を図ります」に変更したい。

菊池町長：外に意見が無ければ、内容了承ということでよいか。

無いようなので、(案)を消していただきたい。その他で何かあるか。無ければ、座長の任を降りる。

金澤総務課長補佐：本年度の会議は、これで終了となる。本日の会議で修正点が出ているが、町長については内部の文書決裁の中で確認することとし、教育委員の皆様には、次回の教育委員会の中でご確認をいただき、正式決定としたい。その後、町ホームページや広報はなわへの概要掲載の形で、町民に周知できるようにしたい。次年度以降は、教育大綱の進行管理のため、年1～2回、情報交換を兼ねた会議を開催することになるので、ご協力をお願いします。

以上で、本日の会議を終了する。